

# 海外生活 エッセー

ロンドン事務所

## 英国のリゾート地

(一財)自治体国際化協会ロンドン事務所 所長補佐 丸山 香織 (徳島県派遣)

2017年11月、研修で英国南部のボーンマスを訪れ、National Coastal Tourism Academy (NCTA、全国沿岸観光協会) で沿岸地区の振興についてお話を伺いましたのでご紹介します。

### → 英国人の夏の楽しみーピアー

ボーンマスはロンドンから電車で2時間ほどの場所に位置し、美しい海岸があることから、英国有数のリゾート地として

知られています。夏には国内外から数多くの観光客が訪れ、砂浜は日光浴をする人々で溢れます。そして、



ブライトンのピア

それらの人々の楽しみの1つが、ピア（日本語で栈橋）と呼ばれる施設です。英国のリゾート地の海岸には、必ずと言ってよいほどピアがあり、現在、英国には59のピアがあると言われています。海に向かって突き出た大きなピアの上に、レストランや売店、遊技施設があります。多くの英国人には、家族とピアで過ごした楽しい思い出があるそうです。

ピアは1814年から作られはじめ、人々の憧れの場所となりましたが、近年は娯楽の多様化、また海外旅行の普及により、その数は徐々に減ってきています。ピアの中には、長年放置され、見るも無残な姿になっているものもあります。この状況に危機感を抱いたNCTAや自治体が、ピアの再活性化の取り組みを始めています。ピアを現代に合ったデザイン・用途のものに作り替え、人々の交流の場として利用できるように工夫しています。この取り組みは、2017年にヘイスティングスとい

うところにあるピアが、英国最高の建築賞を受賞したことから注目を集めています。

### → オフシーズンの取り組み

海岸沿いのリゾートの大きな悩みは、冬の間どうしても観光客が減ってしまうことです。そこで、ボーンマス市ではその対策として、企業に対してセールスサポートをしたり、年間を通じて世界規模のイベントを開催・誘致したりしています。さらに冬の間観光客の減少に加え、ボーンマスはロンドンから日帰りで行けるため、宿泊客が少ないという問題があります。そのため、イベントを開催するにあたっては、宿泊が必要になるよう、夜遅くまでイベントを開催するという戦略をとっているとのことです。

再活性化施策の一環として、ボーンマス市は2017年春、海岸沿いに15棟のロッジを建設しました。建設費および運営費はすべて市が拠出しています。いわば公営ホテルです。決して広くはありませんが、キッチン、シャワー、トイレが完備され、ベッド、テーブル、椅子も揃っています。Wi-Fiも設置されています。ロフトも使用すれば最大で6人（大人4人、子ども2人）が宿泊できるとのことです。夏の間はもちろん、筆者が訪問した11月でも稼働率はほぼ100%とのことでした。夏の明るく賑やかな海はもちろん魅力的ですが、冬の静かな海をゆっくり眺めるのも贅沢な休暇の過ごし方だと感じました。



ボーンマスの海岸沿いに並ぶロッジ